

Mizuho Daily Market Report

2025/2/20

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.67	151.47	▲0.59	▲2.95
EUR	1.0452	1.0423	▲0.0023	+0.0040
AUD	0.6365	0.6344	▲0.0009	+0.0064
SGD	1.3418	1.3429	+0.0006	▲0.0109
CNY	7.2847	7.2788	+0.0034	▲0.0281
MYR	4.4447	4.4433	▲0.0022	▲0.0259
THB	33.69	33.69	+0.00	▲0.37
IDR	16325	16330	+55	▲37
PHP	58.11	58.09	▲0.07	▲0.10
INR	86.97	86.95	+0.00	+0.06
VND	25522	25520	▲7	▲47

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.533%	▲1.8 bp	▲8.8 bp
日本(10年)	1.435%	+0.5 bp	+9.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.557%	+6.4 bp	+8.0 bp
オーストラリア(5年)	4.104%	+0.8 bp	+6.9 bp
シンガポール(5年)	2.800%	+2.8 bp	+0.4 bp
中国(5年)	1.524%	▲1.8 bp	+8.8 bp
マレーシア(5年)	3.624%	+0.7 bp	+0.3 bp
タイ(5年)	2.087%	▲0.2 bp	+1.7 bp
インドネシア(5年)	6.577%	+4.6 bp	▲5.0 bp
フィリピン(5年)	5.882%	▲0.3 bp	+2.3 bp
インド(5年)	6.642%	+0.0 bp	+1.1 bp
ベトナム(5年)	2.443%	+0.0 bp	+2.6 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	44,627.59	+0.2%	+0.6%
N225(日本)	39,164.61	▲0.3%	+0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	5,461.17	▲1.3%	+1.0%
ASX(オーストラリア)	4,721.15	▲0.6%	▲1.0%
FTSTI(シンガポール)	3,934.04	+0.2%	+1.5%
SSEC(中国)	3,351.54	+0.8%	+0.2%
SENSEX(インド)	75,939.18	▲0.0%	▲0.3%
JKSE(インドネシア)	6,794.87	▲1.1%	+2.2%
KLSE(マレーシア)	1,580.88	▲0.2%	▲1.4%
PSE(フィリピン)	6,119.88	+0.4%	+1.3%
SETI(タイ)	1,262.27	+0.4%	▲1.7%
VNINDEX(ベトナム)	1,288.56	+0.8%	+1.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	316.63	+0.3%	+1.6%
金	2,933.39	▲0.1%	+1.0%
原油(WTI)	72.25	+0.6%	+1.2%
銅	9,425.91	+0.3%	+0.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.10	—	152.80
EUR/USD	1.0200	—	1.0550
AUD/USD	0.6085	—	0.6430
USD/SGD	1.3340	—	1.3530
USD/CNY	7.2410	—	7.3240
USD/INR	4.3800	—	4.5430
USD/THB	33.20	—	35.15
USD/IDR	16100	—	16500
USD/PHP	57.65	—	59.20
USD/INR	85.80	—	87.80
USD/VND	24,100	—	25,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は151円台後半でオープン。高田日銀審査委員の「一段のギアシフトを進める局面」との発言もあり小幅に円高進行。しかし、講演内容は想定内だったか直後に反発し152円台前半まで戻す。その後は上値重い推移となり、結局スタート時の水準を割り込む151円台半ばでクローズ。アジア通貨は、ほぼレンジ相場となった。一方、今年に入ってから1.5%以上下落しているインドネシアルピアは一時0.6%安となったが、政策金利の据え置きを受けて水準を戻した。

海外市場のドル円は151円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米1月住宅着工件数が予想を下回った事を受け、米金利の低下を背景とした売りが優勢となり、151円台前半まで下落。その後は米株が下げ幅を縮小する動きを受け下げ渋り、151円台後半まで戻す。午後に発表された米1月FOMC議事録では、「バランスシートのランオフの停止あるいは減速を検討するのが適切かもしれない」との内容が示されると、米金利の低下に追随し、151円台半ばまで反発。その後は、同水準での推移が続き、そのままの水準でクローズ。

【金利】

前営業日の米金利は低下。欧州時間に小幅に上昇していた米10年債利回りは、軟調な米指標などから上げ幅を縮小。入札を前に再上昇するも入札一巡後は元の水準に戻した。その後、米1月FOMC議事録が公表されると、QTについては債務上限が解決するまでランオフの停止あるいは減速する必要があるかもしれない、との内容を受けて米金利は低下した。米10年債利回りは前営業比▲1.8bpの4.533%でクローズした。

【予想】

本日のドル円は上値の重い展開を予想。本日はFRB高官からの発言が相次ぐこともあり、その動向には注意が集まる。一方で、市場で織り込まれる利下げ回数は既に2回を下回っており、一段のタカ派発言が出てくるかはやや懐疑的。昨日のQTペースの減速・停止を織込む流れから上値が重い展開が続くか。

【本日の予定】

(日本) 流動性供給入札
(アジア) 1月 マレーシア 貿易収支
(アジア) 1月 中国 SWIFT グローバル支払 CNY
(アジア) 1月 豪 雇用統計
(アジア) 4Q インドネシア 国際収支・経常収支
(アジア) 中国 LPR(1Y, 5Y)
(欧州) 12月 ユーロ圏 建設業生産高
(欧州) 1月 独 PPI
(欧州) 2月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)
(米国) 1月 先行指数
(米国) 2月 フィラデルフィア連銀景況
(米国) ケールズビー・シカゴ 連銀総裁講演 / ジェファーソンFRB副議長講演
(米国) ハーFRB副議長講演 / ムサラム・セントルイス連銀総裁講演
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。